

# 北海道師範塾 塾頭通信

## 「教師の道」

第708号 平成26年3月24日

### キャリア教育（2）

高校生や大学生の就職率については、改善されたとはいえ依然として厳しいものが有ります。その背景には、学校でのキャリア教育の問題もさりながら、長引く不況等による「雇用環境の悪化」や「社会構造の変化」による影響も大きいと思います。精神科医の香山リカ氏もその著「就職がこわい」の中で、「就職したい！」という強い意志を持って就職活動を始め、最後の最後まで必死の努力を続けたのに結局どこにも採用されないという厳しい現実と直面し、就職戦線からリタイアして行く学生達の姿をレポートしています。ただ、近年の無業者の増加という点に注目してみると、必ずしも就活環境の厳しさだけが原因ともいえない様です。

リクルート・ワークス研究所の大久保幸夫所長は、志望企業の名前も正確に書けない学生がいるという驚くべき実態を紹介しています（同氏著「新卒無業」から）。就活するのに、志望する企業の名前が書けないというのでは採用されなくて当然とも思いますが、そんな事にも考えが及ばない程、今の学生達には就活に当たって必要となる知識や常識が欠けているという事なのではないでしょうか。

いずれにせよ、働くという事の現実や社会の有り様に対する理解を欠いたまま就活に臨んでも、旨く行く筈はありません。

就活を諦めている学生達を見ていると、それはまるで小さな小石に躓いてこけ、こけた理由を小石のせいにして、だから自分は歩くのを止めたといっているようなものです。

この様に、就職難と一口にいっても、その様相は以前とは随分違うように感じますが、それでは何故多くの若者達は、大した理由にもならない理由で、就活という大事なレースから早々にフェードアウトしてしまうのでしょうか。

香山氏は、それは若者達の「自分自身への不安、就職試験や他人に対する恐怖」が余りにも強いために、就職問題に正面から向き合おうとしていないのだと指摘しています。就職はしなければならないと思いつつも、結局就職試験を受けようと思わないというのは、まさに「不安」や「恐れ」の感情がそうさせているのかも知れません。しかし、「不安」や「恐れ」から就活がまともに出来ないというのでは、精神的にも社会的にも自立しているとはとてもいえません。

こうした若者を出現させている現実を、学校教育に関わるものは直視しているの

でしょうか。

勿論、今の若者達だって、今のままで良いと単純に思っている筈はありません。むしろ、彼等自身、「不安」や「恐れ」を感じている自分自身に苦しんでいるのではないかと考えるべきでしょう。今日、学校で行われている「キャリア教育」は、そうした若者達を相手にしているのだという事をしっかりと認識して置く必要があります。

今日においても、「キャリア教育」を進路指導や就職指導と認識している人は少なくないようです。

以下の文章の中で正しくないものを選んでください。  
正しくないと思う文章には番号の前の( )の中に、「×」印をつけてください。

- ( ) 1 キャリア教育は、子どもの自立力を発達させることを目標としている。
- ( ) 2 大学進学を目指せば、キャリア教育と同じ目的が達成できる。
- ( ) 3 自立力は、職業につけばおのずと身につく。
- ( ) 4 キャリア教育とは、職業について教えることである。
- ( ) 5 キャリア教育の実践には、保護者の理解が不可欠である。
- ( ) 6 子どもの興味を尊重し、好きなことをやらせることで、自立力は育つ。
- ( ) 7 キャリア教育は、知的能力の発達にも貢献するはずである。
- ( ) 8 キャリア教育とは、小学生時代に将来の目標を明確にして、その目標に向かわせることではない。
- ( ) 9 いろいろな職業を体験させることが、キャリア教育である。
- ( ) 10 キャリア教育は、将来の夢を実現させる教育である。

勿論、「キャリア教育」は、単なる進路指導ではありません。ですから、学生達の就職支援のために「キャリア教育」を行うというのでは、既に手遅れ感は否めません。

左の図は、渡辺三枝子氏の著書「キャリア教育」から勝手に拝借したのですが、「キャリア教育」に対する認識を確認する上で参考になると思いますので、それぞれチェックしていただければと思います。

これは違うなと思うところをチェックして欲しいのですが、簡単な様で難しいと思います。

社会の中に「無業」という状態で浮遊する若者を作らないためにも、学校教育の中で「キャリア教育」をどう位置付け、どう

取り組むべきなのか、真剣に考えるべき時に来ている事は確かです。

なお、上段のチェックリストで×の付く番号は、2, 3, 4, 6, 9, 10です。

(塾頭：吉田 洋一)